

# 見えない タテ役者

## 地震

の多い日本の家には、繰り返し大きな揺れにあっても、倒壊や損壊しないだけでなく、影響なく同じ家で暮らし続けることができる

## 強靱な躯体

スウェーデンハウスでは、一つの堅い「箱」のようなモノボックス®構造によって地震に強い家を叶えています。

## 堅い構造

は、地震後の暮らしに影響を及ぼす「歪み」を家に生じにくく

くするのです。歪みが生じてしまうと、

ドアや窓の開閉ができなくなったり、窓ガラスが割れてしまいます。さらに

歪みは家に隙間をつくるので、ずっと

## 快適で安全

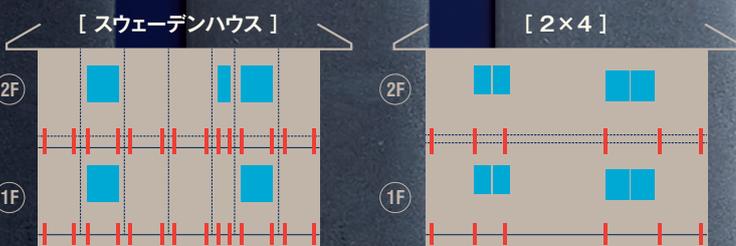
に暮らすこと

のできる家には堅さが必要なのです。

堅いモノボックス®構造に欠かせないのが、床・壁・屋根といった部材を繋ぎとめる接合金物です。スウェーデンハウスでは数十種類の接合金物を使用し、元々頑丈な部材一つ一つを密接に結びつけ一

## 圧倒的な数の差

一般的な2×4住宅とスウェーデンハウスの帯金物を使用する位置は、図の通り。家全体に使用する数は圧倒的に差があります。緊密に繋いで一体化させて、いざという時に揺るがない強さを支えています。



体構造を実現しています。

そしてスウェーデンハウスの強さを

より確かなものに行っている接合金物が

壁パネルと床組、1階と2階を固定する

## 帯金物

です。帯金物は、一般的な2×4工法で

は、開口部の両端と建物隅だけに使われて

いますが、スウェーデンハウスでは、全て

の壁パネルの両端に用いるので、家全体に

使う数は圧倒的に多くなります。当然、施

工に技術も手間も要しますが、面として一

体化するため、大地震や繰り返しの揺れに

## 耐え抜く

強い家を追求した結論

です。

帯金物は、家が完成してしまえば人の

目に触れることのない、言わば裏方的な

存在です。しかし、たくさんの帯金物が

陰のタテ役者となって、強靱な躯体を

実現することにより、ご家族の安心を守り

続けています。